

☆☆ **新型コロナウイルス感染症ニュース 第54号外 2021.2.8** ☆☆

新型コロナワクチンについて、2月5日（金曜日）に仙台市医師会主催で「接種に関する講演会」が開催されました。会場参加が63名、Web参加が552名と大変多くの先生方にご参加いただきました。2部構成で「ワクチンについて」の講演と、「仙台市の接種体制について」の情報提供が行われましたので、要旨をご報告いたします。当日の内容は今週中に仙台市医師会HPからも視聴できる予定です。

<新型コロナウイルスワクチンについて> 川崎医科大学小児科学教授 中野貴司先生

中野貴司教授は日本渡航医学会理事長、日本感染症学会 ワクチン委員会：COVID-19 ワクチンに関する提言をまとめられたメンバーの一人で、当日は仙台市医師会 川村理事の座長で講演がWeb配信されました。講演に使われたスライドは紙面印刷資料として会場参加者の皆様には配布されております。

非常にわかりやすい講演でしたので、お聞きになれなかった方にはぜひHPからの視聴をお勧めさせていただきます。僭越ですが、ここではご講演の要旨のみを簡潔に箇条書きで紹介させていただきます。

- ・ 最初に接種が見込まれるファイザー社のワクチンはm-RNAワクチンであり、従来の生ワクチンではないのでウイルス増殖の可能性はないが、不活化ワクチン、トキシイドとも異なるタイプである。
- ・ これまでの調査ではワクチンの有効率は、発病回避において90%程度。
- ・ ワクチン接種後に感染発症しても、重症化の確率を下げるのが期待される。
- ・ 有効性の持続期間、年齢・基礎疾患・人種による差異は今後の検討課題。
- ・ ワクチン接種後の有害事象では局所反応、中でも接種部位疼痛の頻度が高かった。
- ・ ファイザー社のワクチンでは、1回目接種後の約30%、2回目接種後の約15%に日常生活に支障が出る以上の疼痛が報告された。
- ・ ワクチン接種後の38℃以上の発熱は1回目では少ないが、2回目接種後の10～17%に見られた。
- ・ 重篤な有害事象は、ファイザー社の臨床試験では接種群0.6%、対象（生食接種）群0.5%であった。
- ・ モデルナ社、アストラゼネカ社も含め、重篤な有害事象の頻度は対象群と差異がなかった。
- ・ 安全性について年齢・基礎疾患・人種による差異、数万人に一人以下の稀な副反応、長期的な安全性については今後の検討課題。
- ・ 重篤な副反応であるアナフィラキシー症例の報告は米国でのファイザー社ワクチン接種後のもので、100万接種当たり11.1例、接種後発症までの時間は15分以内が71%、性差では女性が90%と多かった。
- ・ アナフィラキシーと血管迷走神経反射の鑑別で重要なことは、前者が頻拍、後者は徐脈。
- ・ アナフィラキシーの初期の薬物対応はアドレナリンを大腿前外側部位に0.01mg/kg（最大量は成人0.5mg、小児0.3mg）筋肉内注射する。

追加質問

- Q1. 膠原病など、現在生物学的製剤が使われている方は原則、生ワクチンの接種は禁忌となっております。今回のワクチン接種はどのように考えればよいでしょうか？
- A1. 正式な見解は出ておりません。生ワクチンではないので、個々の判断となると思われます。
- Q2. 16歳以下の小児への接種についてはどのように判断すればよいでしょうか？
- A2. 正式な見解は出ておりません。今後、接種対象の拡大に伴って検討されることと思われます。

＜仙台市における新型コロナウイルスワクチン接種 -2月5日現在の方針、現状-＞仙台市医師会 CVPT(Corona Vaccine Project Team)

国の指針でワクチン接種は、いずれも早ければ医療従事者向けが2月末から、一般市民向けが4月からの開始が示されております。当初使用できるワクチンはファイザー社のもので、m-RNA ワクチンであり、慎重な取り扱いが求められております。国から**超低温“冷凍”**配送されたワクチンは、**基本型接種施設**と呼ばれる仙台市内は12カ所の病院にまず保管されます。

⇒「配送；-75℃±15℃」「施設での冷蔵保管；2℃～8℃、5日以内」「室温で解凍後は2時間以内に希釈を完了、6時間以内に接種」「1 バイアル（最小接種単位）は6回分」「接種後15～30分間の施設内待機」「21日間隔で2回接種」

一方接種対象人数ですが、仙台市の人口から接種会場での対応予定人数を計算してみます。実際には全員が希望されるわけではないと思われまますので、あくまでも最大予想です。

医療従事者は医師会員と会員施設のスタッフで約25,000人、他に歯科医師会関連、薬剤師会関連、行政関連（保健所、救急隊、自衛隊など）等で感染疑いを含む患者さんと接する仕事に従事する方

仙台市民は全人口 = 1,082,000人（65歳以上の高齢者人口 = 258,000人）であり、当初、高齢者の2回接種を4月1日からの9週間で2回接種完了が要求されております。

⇒ $258,000 \times 2 = 516,000 \div 63 \text{日間} = \mathbf{1 \text{日あたり約 } 8,200 \text{人}}$

従って、集団接種の場合、1レーン当たり医師1名、看護師2.5名で100名接種実施するとして

1日80レーン ⇒ 1日当たり、医師80名、看護師200名+αが必要

個別接種の場合 400医療機関（インフルエンザ予防接種実施数）の実施で1施設当たり約**20人/日**

この状況を踏まえ、接種希望者の要求にお応えするために「主に**平日診療日は各医療機関**で接種、**土日など診療時間外で集団接種**」を行う方向で現在準備を進めております。まだ**変更の可能性もあります**ので、今後の通知にご注意ください。

計画では、基本型接種施設に保管されたワクチンは、個々の接種施設に**“冷蔵”**搬送されます。搬送業務は薬品卸業者さまに全面協力いただく予定です。各施設での**接種の実施**には下記手順、条件が必要です。

- ・ 医療従事者には自院で接種券付き予診票をダウンロードして印刷、自院以外接種の方には同票を仙台市医師会から発送、接種後は接種施設で人数のWeb入力が必要です。
- ・ 一般市民には接種クーポン券が仙台市から発送されますが、予診票は各接種施設に配られます。接種後は接種施設で人数のWeb入力が必要です。
- ・ ワクチンを適切に管理し、できる限り無駄なく接種すること（1Vが6回分なので6の倍数で接種を計画）
- ・ 接種後15～30分間の経過観察（密を避ける工夫）

具体的な接種予定者の**予約と割り振りの方法は検討中、現状未定**です。

また接種費用は、全国統一の単価として1回目、2回目とも共通の2,070円（税別）であり、ワクチンは、国が確保供給するため接種費用に含まれません（集団接種の際の費用は未定です）。

「医療従事者の新型コロナワクチン接種希望者の把握について」1月27日付で、各医療機関様へアンケートを送っております。原則エクセルのリストをメールで提出いただく形で、2月10日必着にご協力ください。ただし、今回医療従事者として接種を受けなかった場合でも、後日一般市民として接種を受けることは可能です。

また一両日中に「新型コロナワクチン接種事業実施に関する登録確認調査について（ご依頼）」を送付させていただきます。自院スタッフの接種と、その後の周辺施設の医療従事者、一般市民の対象ご協力についてお尋ねいたします。ぜひ、たくさんの会員の先生方にご協力いただきたくお願いいたします。

下記、「仙台市医師会新型コロナワクチン接種事業への対応基本方針」を理事会で協議決定いたしました。ぜひ、医師会一丸となってこの難局を乗り越えたいと思います。

- 1) 仙台市民の命と健康を守るため、新型コロナ感染症ワクチン接種事業を積極的に関与推進する
- 2) ワクチン接種に関して仙台市に積極的に協力する
- 3) ワクチン接種に関して市民の安全を優先する
- 4) ワクチン接種において仙台市医師会員と接種に従事するすべての人々の安全に十分配慮する
- 5) ワクチン接種が早期に多くの市民が受けられるように努力する

(担当；福壽岳雄)

仙台市医師会へのご意見・ご質問等はFAX、メールでお願いいたします。

FAX : 022-267-5193

メール : sen-ishi@sendai.miyagi.med.or.jp